

お知らせとお願い

平成23年 第43回 在京白聖会総会を開催します

このたびの東北関東大震災は、有史に残る未曾有の大惨事となりました。ここに在京白聖会を代表して、お亡くなりになられた方々、被災者、そして関係する在京白聖会員、白聖同窓生の皆様に対して深く哀悼の意を表すると共に、心よりお見舞い申し上げます。

このような中、在京白聖会総会を開催すべきかどうかについては、いろいろと意見が出るなか、急遽、役員間で協議の結果、このようなときであるからこそ、我らが故郷である岩手を応援し、激励する集まりを催そうという結論に至りました。

在京白聖会として岩手のために何ができるのか、何をすべきかを考え、行動していく第一歩としたいと願っております。そのため懇親会は、従来のように、酒肴を供して歓談する場ではなく、同郷の士と今後の岩手を考え、語り合う場にしたいと思っております。

どうか趣旨をご理解の上、一人でも多くの方がご参集いただくようお願い申し上げます。

なお、同封の会報第30号でご案内した今年の在京白聖レディス会は、開催中止となりました。他の在京白聖会の行事につきましても、今後、中止又は内容が変更になる場合があります。行事への申込み、参加にあたっては、担当者に十分にご確認下さいますよう、よろしくようお願い申し上げます。

平成23年3月26日
在京白聖会長 馬場 信

在京白聖会総会の運営・内容の変更について

今回の在京白聖会総会の企画・運営は、昭和54年卒が担当させていただきます。同封の白聖会報にてご案内をしております講演会、懇親会の内容および開催時間につきまして、以下のように変更し実施いたします。

会報印刷の締切りに間に合わなかったため、当紙面にてお知らせをさせていただきます。

- 日時 5月14日(土) 16:00~18:00 受付開始 15:30~
- 場所 東京ガーデンパレス(文京区湯島1-7-5/電話 03-3813-6211)
- 内容 ・講演会は実施いたしません。
・懇親会の内容変更
※岩手の現況報告と今後を考えるための情報共有の場としたいと考えています。
- 会費・参加費(変更ありません): 一般 10,000円(年会費2,000円を含む)
学生・院生 3,000円(年会費2,000円を含む)

※参加費の一部を、岩手を支援する義援金に充当したいと考えております。

そのため酒肴の類は提供いたしません。予めご了承ください。

また当日募金やチャリティ販売などの企画も考えております。

白聖魂を見せる時は、いまだです。

故郷岩手に向けて、みなさんとともに魂のエールを送りましょう。

趣旨にご賛同いただき、多くの方のご参加をお待ちしております。

昭和54年卒代表幹事
日向裕司

～当日総会に参加できない皆さまへ～

在京白聖会では、今回の東北関東大震災の義援金を総会の参加費等から拠出することを考えています。趣旨に賛同されながらも当日、参加が難しい方は、同封した年会費の払込取扱票の振込金額を二重線で訂正の上、任意の金額をお振り込みいただくようお願いいたします。

年会費を上回る部分を義援金とさせていただきます。

在京白聖会事務局長
玉澤 健児

在京白聖會報

第30号

平成23年3月26日

発行

在京白聖会
(事務局)

〒105-0003 東京都港区

西新橋3-5-2

西新橋第一法規ビル5F

玉澤健児税理士事務所 内

TEL&FAX.03-3431-5860 (直通)

<http://www.hakua.soikei.co.jp/index.htm>

在京白聖会
2011
総会

5月14日(土) 東京ガーデンパレスで開催 ～みんなで凱歌を歌おうじゃないか！ 後輩への魂のエール～

第43回在京白聖会総会は、5月14日(土)、文京区湯島にある東京ガーデンパレスに会場を移し、昭和54年卒が幹事を務めさせていただきます。

在京白聖会は、43年前、我が一高が8度目の甲子園出場を果たした時に、甲子園に応援に行かため集まったことが契機となり、その翌年に発足いたしました。



昭和53年甲子園出場時の応援風景 (写真集「闘魂」より)

第43回在京白聖会総会

日時：5月14日(土)
講演会 16時～／総会・懇親会 17時～
受付開始15時30分より
場所：東京ガーデンパレス (03-3813-6211)
(文京区湯島1-7-5) ※昨年の会場から変更
" 0x\ 10,000円
(在京白聖会平成23年度年会費2,000 S c)
学生・院生3,000円
(同上/但し、社会人・揚G枠G揚H揚G揚G7WG)

講演会 <講師とテーマの紹介>

テーマ：「認知症を理解しよう」

講師：高橋 智 (たかはしさとし/54年卒)



岩手医科大学神経内科・老年科 准教授
昭和60年3月 岩手医科大学医学部卒業
平成5年4月 医学部講師任用
平成17年3月 医学部助教授任用
平成18年4月 附属病院医療安全推進室長
平成19年4月 学校教育法の改正により
准教授へ名称変更

専門領域：老年期認知症、脳循環

<著書> (共著を含む)

『かかりつけ医とケアスタッフのためのBPSD対応マニュアル』(南山堂)

『内科学書』(中山書店) 他

<主なテレビ出演>

「あさイチ」「ためしてガッテン」「先どり きょうの健康」

(以上、いずれもNHK)

ました。第50回大会となるその年、甲子園では盛岡一高旋風を巻き起こし、東北に盛岡一高ありと全国にその名を知らしめました。

は、その成り立ちの主旨と、甲子園に行った年次であることに思いを馳せ、「甲子園」を本会の共通項として、先輩から後輩へと繋がる白聖の絆を再認識する場としたいと考えております。

前、33年前、そして惜しくも甲子園出場を逃した一昨年の後輩たちの活躍を、映像やスライドで紹介、当時の選手にご登壇いただく(?) サプライズコーナーも着々と準備を進めています。そして、参加者全員で凱歌



昨年の総会風景



会場地図

Webでの申込みは <http://www.hakua.org/zsokai43.html>

を高らかに歌い上げ、今年に懸ける後輩たちへの魂のエールとします。

また、総会に先立ち開催する記念講演会では、岩手医科大学神経内科・老年科准教授の高橋智君(54卒)に「認知症を理解しよう」をテーマに、社会的に関心の高い認知症についてわかりやすく解説をしてもらいます。

高橋君は、NHK「きょうの健康」や「ためしてガッテン」にも出演しています。乞ふご期待！

さらに、鏡割に使用する樽酒は、54年卒ゆかりの文政12年(1829年)創業の蔵元「鷺の尾」です。こちらもお楽しみに！

なお、出欠につきましては、同封のハガキにて4月22日までにご投函いただけます。ウエブサイトからの申し込みも可能です。

<http://www.hakua.org/zsokai43.html>

皆様のご来場を心よりお待ちしております。



今年の幹事、昭和54年卒のみなさん

(昭和54年卒幹事団)

第7回 在京白聖レディイス会

参加者募集

レディイス会って何？
一度は参加してみましよう

今年も銀座でー開催日：平成23年6月18日(土)ー

女性同士の情報交換や親睦を目的に始まった「在京白聖レディイス会」は、今年で第7回目、70歳になった昭和34年卒が幹事を務めます。

学年も年齢も超えた女性会員によるパフォーマンスとスピーチで盛り上がりたと思います。フランス料理を戴きながら、楽しい集いになるように準備を進めていますので、お誘いあわせて御参加下さい。

●日時：平成23年6月18日(土) 12時～15時(受付は11時30分から)

●場所：レストラン・サンミ(sun-mi) 高松本店

※昨年と同じ会場です。

●会費：5千円

※参加者は、在京白聖会年会費(2千円)の納付にご協力下さい。

●担当幹事：

小笠原良子 042-591-9975

田村紀子 047-443-5215

●申込：参加希望の方は、5月31日(土)までに、住所、氏名、卒業年次及び電話番号を担当幹事に御連絡下さい。

なお、当日のキャンセルは、御容赦下さい。



昨年の参加者(写真左)と会場地図(上図)



第5回 在京白聖芸術鑑賞クラブ(ル・サロン・プラン)

活動報告

陶芸鑑賞と作陶体験

芸術鑑賞クラブは、昨秋10月30日(土)に、台風が直撃するかという風雨にもかかわらず、S25年卒からS61年卒までの幅広い年次の参加がありました。

東郷神社境内にある、伝統を誇る日本陶芸倶楽部を会場に、まずアマチュア作品展をゆつくり鑑賞しましたが、その多彩で質の高い作品群に圧倒されてしまいました。

その後、作陶体験をすることになり、倶楽部の指導者から懇切丁寧に教えてい

ただきながら、各々が茶碗やカップなどを手びねりで作陶しました。真剣に取り組んで充実した時間を過ごした後、全員で茶会に参加し、緊張感の中、美味しくお菓子と抹茶をいただきました。

この日の都内は、終日風雨が吹き荒れていましたが、普段、経験することのない日本の伝統に親しむ時間を存分に体感して、充実した一日となりました。

写真は、原宿の東郷神社境内にある日本陶芸倶楽部での作陶体験に参加されたみなさん



作陶体験のあとは、茶室で抹茶を楽しむ



年々多彩になる白聖芸術祭

「第3回白聖芸術祭」は、S23年卒小川茂さんが編曲された箏曲、石川啄木の「一握の砂」のCDが会場で聴けるなど、年々多彩な作品が展覧されるようになってきました。ますます盛大になってきた「白聖芸術祭」。これからも多くの同窓生が展覧され、見学されますようお願いいたします。



▶ 浅沼榮一 (浅沼一 道 / S 27 卒) 〈益延壽〉



▶ 佐藤法雄 (佐藤容齋 / S 50 卒) 〈孤雲〉



▶ 三浦千波 (S50卒)
〈みちのく風景〉



◀ 伊藤馨一 (S52卒)
〈賢者の祭壇〉

▶ 伊東明子 (S50卒)
〈夕暮れのカフェ〉



◀ 武田夏美 (武田素虹 / S53卒) (臨石山切 伊勢集)



▲ 伊藤公雄 (S34卒) (民話の里)



▲ 板倉洋子 (S28卒) (湧水 (イギリス ヴァブリーにて))



▲ 毛利洋子 (S41卒) (りんごのみた夢)



▲ 神尾厚 (S30卒) (TOMATOS)

◀ 三浦千江美 (S53卒) (廣大)



▲ 八重樫誠司 (S53卒) (ジンベイ日傘)



▲ 南館英孝 (S36卒) (kakis: それぞれの個性)

▼ 坂上洋子 (綾華 / S40卒) (花香)



▲ 池上敦子 (S50卒) (水向低流 人向高走)



▲ 佐々木美枝子 (S43卒) (SELF PORTRAIT? Yes, it's ME!)



▲ 高橋正美 (S31卒) コート掛け (バラ)



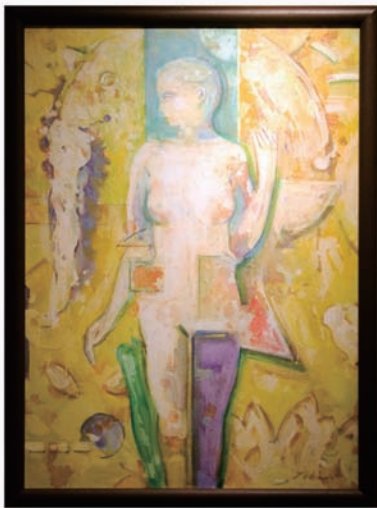
▲ 渡部恵子 (萌園 翠 / S53卒) 〈恩龍の湖面〉



▲ 辻田よね子 (辻よのか / S55卒) 〈静夜-My Sutra-〉



▲ 鍛冶順子 (S61卒) 〈光射すみち〉



▲ 橋本時浩 (S53卒) 〈Siamの森〉



▲ 大澤邦雄 (S43卒) 〈凍鶴(日比谷公園)〉



▲ 玉澤健児 (S43卒) 〈カマスの群れ〉



▲ 及川 謙 (S61卒) 〈鉦脈一金と銀一〉



▲ 村上忠司 (S32卒) 〈湯治場の朝〉



▲ 村野井徹夫 (S35卒) 〈雨上がり〉



▲ 早坂光平 (S31卒) 〈句の書〉

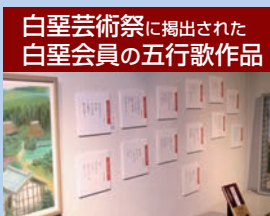
春を感じながら
まじろむ
ぬるむ風
芽吹く命達
夢の散歩をする
(光平・S31卒 早坂光平)

恋の途
(だいてんち・S36卒 星邦彦)

病床に伏した母が
桜花の
ひとひらに涙を流す
旅立つ前の
最後の親孝行
(伊奈 裕・S38卒 稲垣裕雄)

思いたって
三日ぶりにかけてみた
掃除機ですが
髪の毛一本見つかからない
女ひとりの暮らしです
(ろろちち・S42卒 二百まゆみ)

晩秋の、落ち葉を踏んで歩く道
肩を濡らす夕時雨
心をよぎるは想い出の
ふたりで歩いた



野口田鶴子さんの朗読は、白堊芸術祭開催初日の12月2日、15時と17時の2ステージ行われた

縄文人の
錐手に
北天に弓引く
夷狄を
撃つ
(山田武秋・S42卒)

空に浮かんだ
肘と指
青い丘の道
太極拳は
静止を刻む
(八十若・S22卒 小川達雄)



S22年卒小川茂さん編曲の箏曲「一握の砂」の演奏も会場で聴けた



▲山中雅彦 (S49卒)
《蝉》



▲一戸裕子 (S43卒) 《ざくろ》



▲菊池雅子 (S44卒) 《爽日》



▲坂本 務 (S44卒) 《スケートボード練習場》



▲小野寺長道 (S28卒) 《前九年からの岩手山》



▲及川昭伍 (S25卒)
《軟釉彩扁壺》



▼滝野澤 暁 (S25卒)
《癩木とガラス瓶》



▲小川 茂 (S23卒) 《箏作品集》



▲福田 隆 (S49卒) 《白樺林》



▼千葉祐治 (S41卒) 《鉢》



▲田部井恭子 (S34卒)
《北極圏の夏》

中世城郭探訪の集い

活動報告

岩櫃城訪問記

昨年11月6日(土) 上野駅に集合して特急草津号にて吾妻線群馬原町駅へと向かいました。約2時間後、降り立った駅前からは甲斐武田氏の三



岩櫃山頂からの眺望

お見舞い

3月11日の東北地方太平洋沖地震による被災の皆様にお見舞い申し上げます。郷里のご家族、ご親戚、ご友人、知人が被災された在京白聖会OBも多いことと思われ

在京白聖会

現在の国道である吾妻街道は、吾妻川沿いに舗装された道となっており、往時の吾妻街道は山上にある岩櫃城内を通るようになっており、城へ向かう道は昼なお暗い急な坂道を登る道でありました。漸く城の真下に着いたところで、日本ではここでしか見られない、という堅堀と横堀を絶妙に組み合わせた空堀群を見学しながら本丸に到着。眼下には、群馬原町、吾妻街道を見

岩櫃山に拠っており、頂上に至る道は、両側が断崖となつていて狭い尾根道を通り、さらに数か所の鉄鎖が設けられた岩を登らねばならず、思わぬ体験が出来た、と喜びの声を

上がっておりました。ようやくの事で到着した岩櫃山頂からの絶景は、心地よい風に吹かれながら、言葉では言い尽くせぬものがありました。

参加者募集
ピアノ伴奏で一緒に歌を！
参加年次広がる 開催日：平成23年8月3日(水)

生のピアノ伴奏で合唱や独唱を楽しもう」というのがこの催しの趣旨です。歌の好きなみなさんのご参加をお待ちしています。
日時：平成23年8月3日(水) 12時集合 17時解散予定
場所：洋風居酒屋ホナペティ



写真は今年2月6日(日)、銀座「スリーアロー」で開催された第2回「歌の新年会」。23年卒から43年卒まで、幅広い年次にわたって18名が参加してビゼーやシューベルトの歌曲、カンツォーネ、シャンソンなどを熱唱した。その後のカラオケの部でも、唄自慢の美声が披露された。

- 住所：品川区中延3-8-7
電話：03-3787-3634
交通：都営浅草線 中延駅A3出口から徒歩3分 東急大井町線 中延駅 同池上線 荏原中延駅から徒歩3分
会費：5千円(ファンコールの方は4千円) ※参加者は在京白聖会年会費(2千円)の納付にご協力下さい。
申込締切：5月末日。参加申込の方へ詳細なご案内を別途お送り致します。伴奏で歌う方は、楽譜を送付願います。
連絡先：早坂光平(31年卒)
TEL/FAX 03-3393-2272
Mail: hayak@icomhome.jp
住所：〒175-0082 板橋区高島平8-27-11207
※独唱の方は、楽譜を左記阿部宛にご送付願います(お一人2曲まで)
阿部克行 TEL/FAX 043-279-4707
住所 〒261-0011 千葉市美浜区真砂2-23 9-503
幹事 31年卒：阿部克行・小笠原征・早坂光平、33年卒：大川紀子、35年卒：大内秀之・中島わか、36年卒：南館英孝

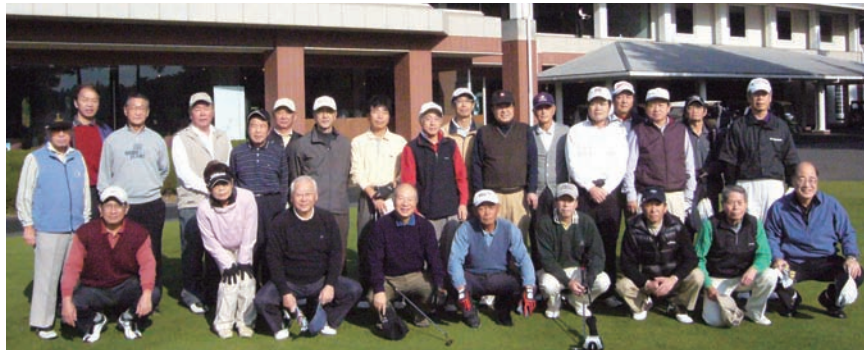
第9回在京白聖会ゴルフ大会 参加者大募集

参加者募集

今年は6月8日(水)に開催

在京白聖会の秋の恒例行事となっておりましたゴルフ大会は、爽やかな陽春の下で会員相互の親睦を深めていただくため、今年は風薫る6月に開催いたします。

個人参加、年次でのチーム



昨年の在京白聖会ゴルフ大会の参加者

参加のいずれでも大歓迎です。例年、帰りの送迎バス内の歓談が好評です。さらさら楽しい思い出を作っていたために、是非、送迎バスをご利用下さい。

開催要領

- 期日：平成23年6月8日(水)
- 会場：ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎茨城県竜ヶ崎市泉町原口159-277 TEL029-764-0110
- スタート：OUT・INとも09:22から各6組(募集締切後参加者に組合せ・スタート順等を郵送)
- 集合：08:30(時間厳守)
- 募集定員：48名
- 参加資格：白聖同窓生
- 参加費：5千円(懇親会飲料代、賞品代)



昨年の優勝チーム、疾風会(S42卒)のメンバー。個人の部優勝もS42卒石井充さん(右から2人目)、準優勝中村久男さん(中央)がゲットした

- ※参加者は、在京白聖会年会費(2千円)の納付にご協力下さい。
- プレー費：15,800円(概算。各自で精算。昼食代及び懇親会オードブル代を含む)
- プレー：18ホールズ・ストロークプレー。ハンデいはダブルペリア方式で算出。同ネットは卒業年次上位。
- 年次対抗戦：1チーム4名の上位3名の合計スコア(1チーム3名の時は3名の合計スコア)で順位を決定する。但し、5名以上で参加の年次は、4名又は3名単位で1チームとし、残余の者及び2名以下で参加の年次は混成チームとして参加する。
- 表彰：年次対抗戦団体優勝、個人戦優勝ほか各賞多数
- 送迎バス：東京駅一会場間の往復送迎バス▽有料 往復3千円、片道1千5百円▽集合

白聖五行歌会

白聖五行歌会は、毎月第1金曜日午後6時30分から秋葉原で歌会を行っています。参加をご希望の方は03-3269-3420(42年卒・白聖五行歌会代表・山田)まで電話またはメールでお気軽にご連絡ください。Eメールアドレス sakuraco@leaf.ocn.ne.jp

薄雪を 黄いろに染めゆく 蠟梅は いま 陽光をうけ 青空に透ける 吉田美雅子(45年卒)	替えの下着が 入っただけのバッグ 無人の駅の 待合室で 固く握りしめる 山田武秋(42年卒)	平凡が一番 急がず 焦らず 自分らしく 人生を味わいながら 伊奈 裕(38年卒)	ちいさな 黄いろの雪洞 これは蠟梅の林 いつのまにか 生まれた神苑 八十若(22年卒)
---	---	---	--

※2010年10月~2011年2月までの作品から。名前はペンネームもあります。

活動報告

銀座で白聖芸術の祭典!

白聖芸術祭2010

06:45 東京駅八重洲口第2鉄鋼ビル前(時間厳守)▽出発 東京駅発 07:00 ●申込：個人、チーム自由。但し、卒業年次一括申込みを歓迎。次の事項を明記(様式自

由)して5月26日(木)までに在京白聖会事務局へ(電話連絡不可)①氏名②卒業年次③連絡先住所及び電話番号④チームの場合は代表者氏名⑤送迎バス利用の有無。

編集後記

▼今春の盛岡一高硬式野球部の関東遠征は残念ながらありません。今夏も活躍が期待されるだけに、ちよつぱり残念です。▼昨年暮れ、S60年卒大友啓史さんが毎日新聞の連載コラム「時代を駆ける」に登場。NHKの人気大河ドラマ「龍馬伝」のチーフディレクターや、「ハゲタカ」(07)、「白洲次郎」(09)など、話題のドラマを次々と手がけている注目のディレクターです。白聖の若い世代の活躍が楽しみなこのごろです。

お願い 総会に出席できない方は、同封の振替用紙にて年会費2,000円をお振込み願います。手数料節約のため、振込みは窓口ではなく、極力ATMにてお願いします。